

令和7年度 第5回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：令和7年11月7日（金） 13時30分～16時30分
2. 場 所：アイパル香川（香川国際交流会館） 3階 第2、3会議室
3. 出席者：委員（敬称略）
委員長 白木 渡（香川大学 名誉教授）
委員 佐藤 好美（佐藤好美建築工房 主宰）
池田 弘子（(株)人間科学研究所 所長）
福村 晃一（香川大学経済学部 准教授）
國村 一郎（(一社)香川経済同友会 専務理事）
玉置 哲也（香川大学創造工学部 准教授）
(委員6名出席)

4. 議 事

(1) 事後評価対象計画

下記の4計画について、事業主体が自ら行った事後評価の妥当性を審議した。

- ① 社会資本総合整備計画高速道路IC等へのアクセス向上による地域活性化支援 [事業主体:香川県]
- ② 社会資本総合整備計画市街地における安全・安心な通学路づくり(防災・安全) [事業主体:香川県]
- ③ 社会資本総合整備計画高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業整備計画 [事業主体:高松市]
- ④ 都市再生整備計画(都市構造再編集中支援事業)山田地区都市構造再編集中支援事業 [事業主体:高松市]

(2) 事業別審議結果

各計画の事業効果の発現状況として、計画番号①～④において、「一定の効果があつた」と事業主体が評価したこと、また計画番号①②において「継続する」としたことについて「概ね妥当である」との意見を付す。

委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・ 事業効果では取り上げられていないが、通行時間の短縮以外に、沿線に商業施設も建設されており、そこで暮らす方々の利便性向上などの効果もあると思う。
(事後評価①)
- ・ 車道から歩行者空間及び自転車走行空間を分離することにより通行の安全が確保できている。無電柱化は景観だけでなく、災害時の安全にも繋がるので進めてほしい。(事業評価②)

- ・ 施設利用者数が伸びるよう、魅力あるプログラムを考えていただけたらと思う。
成功事例となるよう頑張ってください。（事後評価④）

— 以上 —